

## 国内産農産物銘柄設定等に係る意見聴取の議事録

1 開催日時 令和7年12月9日（火曜日）13時40分～15時05分

2 開催場所 東北農政局岩手県拠点4階会議室

3 出席者

(学識経験者)

岩手県農業研究センター水田利用研究室 室長 林尻 雄大

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター

水田輪作研究領域水田作物品種グループ グループ長補佐 南條 洋平

水田輪作研究領域水田作物品種グループ 研究員 笹谷 絵梨

(県)

岩手県農林水産部農産園芸課主任主査 高橋 彩子

(生産者団体)

全国農業協同組合連合会岩手県本部米穀部米穀対策課 課長代理 八幡 裕道

全国農業協同組合連合会岩手県本部米穀部米穀対策課 阿部 誠矢

(実需者団体)

株式会社純情米いわて 取締役 白藤 雄二

有限会社平安商店 統括部長 昆 真弘

有限会社平安商店 開発品質担当 戸草内 美津子

(登録検査機関)

一般財団法人日本穀物検定協会東北支部岩手出張所 出張所長 及川 豪

一般財団法人日本穀物検定協会東北支部岩手出張所 亀田 明

有限会社 e-iwate.com 代表取締役 福地 至

(申請者)

特定非営利活動法人全国自然栽培実行委員会 理事長 菊池 亮

特定非営利活動法人全国自然栽培実行委員会 理事・事務局長 橋口 敬子

岩手県農林水産部 (県と兼ねる)

全国農業協同組合連合会岩手県本部 (生産者団体と兼ねる)

(東北農政局)

生産部生産振興課 上席農政業務管理官 千葉 誠

生産部生産振興課 検査技術指導官 増子 竹美

岩手県拠点地方参事官室 行政専門員 永井田智也

岩手県拠点地方参事官室 行政専門員 小倉 正広

#### 4 開会

【東北農政局：小倉行政専門員】（以下「司会者」という。）

只今から「国内産農産物の銘柄設定等に係る意見聴取会」を開催いたします。

なお、本日の議事の内容につきましては、国内産農産物銘柄設定等申請手続マニュアル第3の2に基づき、議事録を東北農政局のホームページに公開させていただきますので、あらかじめご了承願います。

#### 5 あいさつ

【東北農政局：千葉上席農政業務管理官】（以下「千葉上席」という。）

#### 6 意見聴取

##### （1）銘柄設定申請の概要及び申請状況について

【東北農政局：増子検査技術指導官】（以下「増子指導官」という。）

資料 No. 1 「農産物検査に関する基本要領」抜粋により銘柄設定等の概要を説明。

資料 No. 2 「国内産農産物銘柄設定等に係る申請状況一覧」により申請状況を説明。

##### （2）申請内容について

【申請者 全国自然栽培実行委員会：菊池氏】

【登録検査機関 有限会社 e-iwate.com：福地氏】

申請 No. 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米「ササシグレ」の銘柄の設定等申請書により申請理由を説明。

【申請者 全国農業協同組合連合会岩手県本部：阿部氏】

申請 No. 2 普通大豆及び特定加工用大豆（大粒及び中粒）「リョウユウ」の銘柄の設定等申請書により申請理由を説明。

【増子指導官】

申請 No. 3 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米「岩手141号」について、銘柄の名称変更申請書により変更理由を説明。

##### （3）申請銘柄の確認について

【司会者】

それでは、今回設定申請がありました「ササシグレ」「リョウユウ」の確認をしていただきたいと思います。窓側のテーブルに配置しておりますので、順次ご確認をお願いします。

##### （4）意見聴取について

【司会者】

ご確認いただきましたでしょうか。

それでは、これから意見聴取に入りたいと思いますが、ここからの進行は東北農政局千葉上席が行います。

### 【千葉上席】

この意見聴取会を行うにあたって、国内産農産物銘柄設定等申請手続マニュアルによる「有識者の同意により、申請者を意見聴取の場に同席することができる。」となっておりますので、このまま申請者の方に同席のまま、意見聴取を進めさせていただきたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

(出席者から、異議なし。)

### 【千葉上席】

ありがとうございます。それでは、意見聴取に入らせていただきます。

はじめに、銘柄設定として「ササシグレ」についてご意見、質問等ございませんか。

### 【岩手県農業研究センター：林尻氏】

先ほどカルトンに入ったサンプルを拝見させていただきました。

申請書に添付されている「ササシグレ」と「ひとめぼれ」の比較写真ですが、実物を見ると「ササシグレ」が「ひとめぼれ」より大きく見えました。千粒重との関係もこちらの申請とは、計ったらだいぶ違うのではないかと思ったのですが、サンプル類はどちらからきたのか、「ひとめぼれ」の方は県内産だと聞いたのですが「ササシグレ」の方は一般的な 1.9mm でふるったものなのか、ちょっと粒の大きさが異なると思ったのが一点でございます。

報告書（様式 1-3）の 6 番の品種に係る特徴のところで、右側の「ひとめぼれ」との比較という部分に書いてございますが、こちらの中段の「ひとめぼれ」との比較というところで腹白・乳白粒が多いという記載がございます。これについては、「ひとめぼれ」が腹白、乳白粒が多いというふうに書かれているのでしょうか。同じくその下に縦溝の深浅、胚の大小及び胚の形については同等と書いてありますが、これは何と同等なのか「ひとめぼれ」と同等なのか、また左側の「ササシグレ」の欄を見ると、例えば肌ずれしやすいという特徴が「ひとめぼれ」と同等という意味で書かれているのか、ここの解釈が難しいと思ったので教えていただきたいと思います。

最後に、申請書（様式 1-1）の 10 の (3) 種苗法のところで、奥州市内のは場で自家採取して増やすとありますが、これは奥州市内のどちらの地域になるのかを教えていただきたいと思います。奥州市内には県の奨励品種の採取ほがあり、採取ほは、県の種子条例に基づいて、種子の生産、一般農家に配るための採取ほで種子生産を行っています。そちらの方で例えば「イネばか苗病」という病気がございます。これは指定病害となっておりまますので、このような「イネばか苗病」が発生しているは場が近くにありますと、こちらの種子は合格した種子として使用できなくなるということがございます。

「ササシグレ」の種子は、しっかりと種子消毒をされて「イネばか苗病」の防除等をされているのか、そして採取ほとしっかりと距離が離れているのかというところを確認したいと思います。

**【全国自然栽培実行委員会：菊池氏】**

サンプルの方が大きいというお話ですが、今日サンプル持ってきていただいているのは、当方の種子のほ場から出た「ササシグレ」に間違いございません。

写真のものと大きさがというお話がありましたが、写真の方はふるい目を 1.85mm にしてあります。今日のサンプルは穀の状態から玄米にする過程で、ふるい目は何を使っているのかは把握しておりません。そして種子のほ場についてのご質問ですが、奥州市内に県採取ほがあるのは承知しています。

「ササシグレ」のほ場は、奥州市内の中山間部に位置しており、周囲が山に囲われた谷間に存在していまして、県の採取ほからの距離でいえば 1km くらい離れております。

私からは以上です。

**【有限会社 e - iwater.com : 福地氏】**

銘柄鑑定に関する報告書の「ひとめぼれ」との比較という表についてですが、これは「ひとめぼれ」に対して、このような特徴があると書いてあるもので「ササシグレ」の基本的な特徴の方が左、右側の方が「ひとめぼれ」と比較して粒形はやや細い、透明度が高いこと、それから「ひとめぼれ」に対して皮が薄い、それから「ひとめぼれ」と比較して腹白、乳白粒が多い、そのような特徴を並べたものです。

千粒重は「ササシグレ」が 21.6 で、「ひとめぼれ」は 22.8 でした、という報告書です。

**【増子指導官】**

「ササシグレ」の粒の大きさについてですが、これについては、申請書と同時にサンプルを提供していただいたものになりますが、その際に品質を維持するために穀で提供していただきました。それを農政局の方で玄米に穀摺りしました。

その際使ったふるい目は 1.9mm を使ってています。

**【千葉上席】**

はい、ありがとうございました。農業研究センター様、よろしいでしょうか。

**【岩手県農業研究センター：林尻氏】**

ありがとうございました。

**【千葉上席】**

他にございますか。

**【岩手県：高橋氏】**

申請書 1 ページ目の生産状況についてなんですが、今年は作付面積が 5.7ha、検査実績が 9t となっていますが、実際、収量は反収でどのくらいでしょうか。

**【全国自然栽培実行委員会：菊池氏】**

自然栽培での栽培をしておりますので、反収としましては、良くて 4 倍、悪いところでは、2 倍ぐらいという状況です。自然栽培ですから肥料を入れていませんので、こういった数字になります。

それから、種子も作っておりますので、「作りたい」「一緒にやりたい」という人があれば慣行栽培でも有機栽培でも自然栽培でも栽培方法に関係なく種子を提供していきたいと考えています。

また、種子の生産についても、作っていただける方があれば、連携して種子を守っていきたいと考えています。

【千葉上席】

他に皆様何かご質問ございますか。

【岩手県：高橋氏】

もう一点、自然栽培ということですが、種子も自然栽培ということでしょうか。この場合、「イネばか苗病」の消毒はどうされているのでしょうか。

【全国自然栽培実行委員会：菊池氏】

種子を含めすべて自然栽培になります。

消毒は、私どもの方では温湯消毒のみで、それ以外の薬を使った消毒はしていません。

【岩手県：高橋氏】

ありがとうございました。

【千葉上席】

他にございませんか。

【岩手県農業研究センター：林尻氏】

繰り返しになりますが、今後、種子生産を拡大したいというお話ですが、県の種子等条例に 関係する県のルールでいうと、採取ほから 200m以内に「イネばか苗病」が発生したほ場がある場合、そのほ場 1枚全部種子として使えなくなります。

「イネばか苗病」は数百m、文献によつては、さらにそれ以上胞子が飛んで感染することになっていますので、岩手県全体の米の品質を守るためのルールでございますので、種子生産なり一般栽培で「ササシグレ」を広げる際には一般の採取ほのそばでは、「イネばか苗病」の発生するような栽培方法での栽培を避けていただけるご配慮をいただければありがたいと思います。

また、作付けする前に最寄りの農業改良普及センターなり、岩手県農産物改良種苗センターに相談していただきたいと思います。

【千葉上席】

県として種子生産もございますし、農業者様のお米の生産もございますので、そこはお互いに連携をして、お互い確認をしあいながらお米の生産をしてもらえばと思っております。

【全国自然栽培実行委員会：菊池氏】

わかりました。ありがとうございます。

**【千葉上席】**

他にございますか。

**【千葉上席】**

ご意見が出尽くしたようですので、この意見聴取会として「ササシグレ」を産地指定銘柄に設定するという特段の異議はないということでよろしいでしょうか。  
(出席者から、意義なし。)

**【千葉上席】**

ありがとうございます。

つづきまして、銘柄設定「リョウユウ」についてご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【農研機構東北農業研究センター：南條氏】**

意見というよりコメントになりますが、これは我々の育成した品種ということで、ダイズシストセンチュウに強い品種ということになっております。

岩手県内において「リュウホウ」や「ナンブシロメ」といった品種のダイズシストセンチュウ被害が発生しているということを聞いております。そうした地域において生産に有効な品種と考えています。

今回、このような銘柄を設定いただきまして大豆の生産振興が進むことを我々期待しております。

**【千葉上席】**

ありがとうございます。育成にあたってのコメントをいただきました。

これについて皆様、ご発言ないでしょうか。

**【有限会社平安商店：昆氏】**

我々としては「岩手県産の大豆」というくくりがありますので、是非そういった部分で安定供給をしていただきたいという願いがあります。

一部、県北の方から相対で購入している部分もあるのですが、だいたい 200 トンぐらい使用しているのですが、希望としては、「大粒」の 1、2 等を毎年、安定供給していくだけで価格も安定していただければ、我々としては大変ありがたい。

今は「リュウホウ」が主になっておりますが、豆腐に適したたんぱくの多い原料を安定供給いただければ、価格安定の面からも心強いで、是非ともそういった原料を生産していただけるとメーカーとしてはありがたいです。

**【千葉上席】**

ありがとうございます。力強いお言葉をいただいたんですけども、これから販売していく全農さんとか指導する農研センターさんとか何かご発言ございませんか。

**【岩手県農業研究センター：林尻氏】**

県内全域で「リュウユウ」の生産・検査体制を広げていく予定はあるんでしょうか。

**【全国農農業協同組合連合会岩手県本部：阿部氏】**

これまで種苗センター様では採取ほを設置されておらず、種が手に入らないというところで、生産者様にも供給できていなかったところもありましたが、令和7年産から採取ほを設置いただいたことから、徐々に拡大をしていこうと考えております。

**【岩手県農業研究センター：林尻氏】**

研究センターの方でも、採取ほに原種、系統栽培をやっておりまして、今年産から大幅に増やしておりますので、どうぞ拡大をよろしくお願ひいたします。

**【千葉上席】**

ありがとうございました。他にございますでしょうか。

**【千葉上席】**

ご意見出尽くしたようですので、「リョウユウ」を産地品種銘柄に設定するということに特段の異議はないということでよろしいでしょうか。

(出席者から、意義なし。)

**【千葉上席】**

ありがとうございました。

次に、産地品種銘柄である「岩手141号」の名称変更についてですが、先ほど当方の増子から説明があったとおり昨年の意見聴取会では承認をいただいておりますが、何かご意見、ご質問等ございますか。

新しい品種でもございますし、店頭にも並んでおりますので純情米いわて様、消費者の感想とか販売しての感想とかがあればお願ひします。

**【株式会社純情米いわて：白藤氏】**

大学生協さんを通じて、県立大学と岩手大学の学生さんに食べていただくというイベントをやったんですが、非常に評判が良いです。

ほとんどのスーパーさんに並べているんですけども、安定的に販売できていますので、是非このまま、作付も増やしていただいて、どんどん出していただきたいと思います。売る準備はしっかりとできていますので、是非よろしくお願ひします。

**【千葉上席】**

他に何かございますか。

発言はないようですので、この意見聴取会として「岩手141号」の名称を「白銀のひかり」に変更することに特段の異議はないということでよろしいでしょうか。

(出席者から、意義なし。)

## (5) まとめ

### 【千葉上席】

それでは、本日皆様からご意見を頂戴しました岩手県における国内産農産物の銘柄設定等申請につきまして取りまとめさせていただきます。

特定非営利活動法人全国自然栽培実行委員会様から申請がありました、「水稻うるちもみ・水稻うるち玄米」の「ササシグレ」につきましては、産地品種銘柄の設定要件をすべて満たしており、産地品種銘柄として設定することに特段の異議はないという意見聴取会の結果を農林水産省農産局長へ報告いたします。

また、全国農業協同組合連合会岩手県本部長様から申請がありました、「普通大豆及び特定加工用大豆」の「リョウユウ」につきましても、産地品種銘柄の設定要件をすべて満たしており、産地品種銘柄として設定することに特段の異議はないという意見聴取会の結果を農林水産省農産局長へ報告いたします。

次に、岩手県知事様から申請がありました、「水稻うるちもみ・水稻うるち玄米」の産地品種銘柄である「岩手141号」の名称を「白銀のひかり」に変更することについて、特段の異議はないという意見聴取会の結果を農林水産省農産局長へ報告いたします。

本日はご出席いただきました皆様に、熱心にご議論いただきましたことに感謝申し上げます。

## 7 閉会

### 【司会者】

以上を持ちまして、「国内産農産物銘柄設定等に係る意見聴取会」を終了致します。